



清明小学校 学校だより

みどりの風

清く明るく豊かな心をもち進んで学ぶ子

冬休み前特別号
令和 7 年 12 月 25 日
清瀬市立清明小学校
校長 渋谷 正芳

「乙巳 新たな成長と飛躍の年の感謝」と「丙午 躍動の年へ！」

校長 渋谷 正芳

9月1日に始まった2学期が終わりました。2学期には、様々な学校行事や校外学習があり、子供たち一人一人がもてる力を発揮している姿をたくさん見る事ができました。そこには、保護者や地域の皆様による子供たちへの励ましや見守り、教育活動への御理解と御協力があったからこそだと感じています。これからもそれぞれの立場、視点から子供たちのよりよい成長のために共に歩んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

◇新たな挑戦に向かって◇

さて、年頭に当たって「2025年は『乙巳』に当たり、若いエネルギーが発展していく、新たな成長と飛躍の年になる。そのために、一つ一つの小さな目標を確実に成し遂げられるよう励まし合いながら支え合いながら一人一人がゴール目指して歩み続けていくように」と挨拶しました。振り返りますと、それぞれの希望に向かって、皆が頑張った1年であったと感じています。

来年は「午年」。午年は「躍動」「成功」「勝負」を象徴し、力強く前進して努力が実を結ぶ年とされ、特に「丙午」は60年に一度巡ってきて、新しい挑戦に光が差し活気がある年とされています。活力・行動力、前進、情熱を表し、新しい挑戦や飛躍に良いとされるパワフルな年とされているようです。新しい挑戦に良いエネルギーが注がれ、物事が発展する年になると期待されています。これは、変化のチャンスです。「努力が実る」そのためには、自ら行動を起こさなければ何も変わりません。時の運を味方にしながら、まずは、自分の目標を決め、そして、何があっても達成させるぞとの強き思いの行動で、皆で取り組んでいきましょう。ここで、ふと思い出した言葉を紹介します。

「差がついたって当たり前」

苦しいことに出会った時に

ああだこうだと理由をつけて

苦しさから

逃げようとする人がいる

反対に苦しくてもつらくても

何とか乗り切ろうと

頑張る人もいる

頑張れば

知恵や勇気が備わってくるものだ

頑張る人は

ますます能力が向上する

逃げる人と立ち向かう人

後で大きな差がついたって

仕方ないんだな

菅野淑子 著 全国教育新聞社刊「こぼの花束」より

◇健康・無事故で◇

さあ、明日から楽しみにしていた13日間の冬休みが始まります。この期間、子供たちの周りには年末・年始の様々な催し、行事があり、経験値を上げるチャンスです。ご家族でゆっくりと「今年の感謝と締めくくり」そして「新年の決意」を話題に家族との時間をより一層、大切にしてください。

そして、1月8日(木)の始業式には、新出発の決意にあふれた清明の子供たち一人一人会えることを楽しみにしています。年末年始は周囲があわただしくなります。健康と無事故でお過ごしください。



教師も子供も笑顔での学び合い



規律を守って皆が楽しく学ぶ



皆が笑顔になれる私たちの学校 何事にも夢中



小中交流
コミュニケーション



疑問を追究する問題解決学習

意見交流しながら考えを広げ深める、
対話的な学び



地域と関わる・つながる

運動会 表現する



R7.11.15(土) 子供まつり



おかげさまで11月に保護者の会・青少協第三地区委員会共催の「子供まつり」で、地域の環境学習や地域の伝統文化体験学習と関連させた取組「きよせ郷土カルタ」のブースを設定し、カルタ遊びを実施できました。清瀬第三中学校のボランティア生徒が読み手となり、未就学児から大人まで参加し、地域のこと楽しく触れ合いました。カルタを通して「環境学習・伝統文化学習」への意欲向上が図れたと思います。ありがとうございました。



一枚のマットにカルタを2セット準備、それを5ブース作って実施しました。カルタの札は、私が学区や清瀬全体のことを考慮し、16枚選択して実施しました。校長室前に常時展示してあります。